

塾長の独り言 NO70 H18.11.11.

ホワイトボード、それはいったい何のために置いてあるのでしょうか？」

～～あなたの会社では、ホワイトボードの活用度は %かな？～～

皆さんに質問をします。

あなたの会議室にホワイトボードはあるでしょうか？それは何のためにあるの？

メモ書き、説明するため、記録する、などなど。

最適な答えは「話し合いを促進する」ためです。皆の前で議論を描いていけば、メンバーの参加意欲を引き出し、話し合いのプロセスを共有させることができます。

ひいては、それが「皆で一緒に力を合わせて取り組んでいる」という一体感を生み出します。

つまりは、議論を「見える」ようにすることで、協働意欲を高め、話し合いの質を高め、そして、話し合いの成果と参加者の納得感を高められるのです。

では、もう一つ質問をします。

会議でもっとも大きい影響力を持っているのは誰でしょうか？

おそらく「役職が上の人」「一番声の大きい人」といって答えてはいないでしょうか。

会議の中身（コンテンツ）については、その通りかもしれませんが、

一方、会議の進行（プロセス）についてはどうでしょうか？

会議をよりよく進める上で、もっとも大きい影響力を持っているのは誰でしょうか？

進行役（ファシリテーター）と答えた方は、半分だけ正解です。

実は、板書きをする人が、会議の進行に一番大きな影響力を持っているのです。

その理由は、個々の発言をそのように要約するか、多様な意見をどう整理するかで、議論の組み立てを舵取りできるからです。

板書係や記録係というと、下っ端の仕事のように思えますが、実は会議で一番重要な役割を担っているのです。板書きすることそのものが影響力を生む、といってもよいでしょう。

現在、私はなるべくホワイトボードや模造紙に板書きするようにしています。

本日も顧問先の会議にて、プロジェクトの報告や今後の方針を発表している内容を模造紙に3～4色のマジックで要約しながら書いていきました。

すると参加メンバーは自然と書いている模造紙を見ることとなります。（不思議と下を向かない）

全体像が把握できる。方向性や関係性が見える。（いい意味で見える化）

いろいろメリットがあります。

スキルや習熟も必要ですが、皆様も是非ともチャレンジしてみてください。

<コメント>

「会議室の全ての壁をホワイトボードでいっぱいになりたい！」

それが私の夢、理想の会議室のイメージです。

そのホワイトボードを100%活用しているところを想像してみてください。

あなたはそこに何を書きますか？

どのような内容を書いた模造紙を張りますか？

会議や研修に参加しているメンバーの目つき、意欲、姿勢は、どうでしょうか？

会議のルール「参加」「集中」「対等」、そして「対話」が自然と出来ていると思います。